

## 第 60 回

### 将来のキャリアプラン

皆さん、こんにちは。J1 の K です。入所してまだ 6 か月ほど、期末監査の繁忙期を終えたところです。将来のキャリアプランについてこの場を借りて考えたいと思います。受験生の皆さんの参考になるかどうかわかりませんが、こんな考えもあるのだなと思ってもらえれば幸いです。

私はたまたま始めた簿記の勉強が順調に進んだため、公認会計士を目指してみようと思いました。そのため初めのキャリアプランは全く漠然としたものでした。そんな時に起業した私の友人が様々な問題を聞いてきてくれました。原価計算や資金繰りをどうしよう、こんな計画をしているがどうだろうといった相談に応じているうちに、今勉強している会計が実際に意思決定の役に立つことを実感しました。将来はこのよ

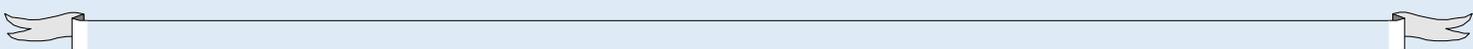


うな社長たちを会計面で助けられるような存在になりたいと思うようになりました。

この考えはアークに就職して実際に監査を行った後も変わっていません。ただ、それにプラスして内部統制の重要性を感じています。

会計監査を行うような企業は友人のスタートアップ企業とは比べ物にならないくらい大きく、内部統制もしっかりしたものを整備運用しなければ事業を適切に行うことができません。監査人が関係するのは財務報告に係る内部統制だけですが、これがしっかりしていないと監査の手間も大きくなってしまいます。なにより内部統制の良し悪しによって、財務諸表が適切であるという監査人の「心証」が大きく影響を受ける、と駆け出しの身ながら感じました。

そのようなことを経験した今では、経営者を会計面だけでなく内部統制面でも助けられるような会計士



になりたいと思うようになりました。幸いなことにアークには内部統制の重要性を語ってくれる先輩が多くいるので、成長のための環境としては願ったりかなったりです。



最後に、具体的な将来のキャリアとして IPO にかかわることを想定しています。IPO の現場は内部統制の整備運用について指導的機能を発揮することを特に求められるようです。集大成としてかかわることができればいいなと考えています。

